

Scuderia Ferrari

フェラーリ F1 栄光の 10 年を振り返る

F1 選手権が創設された 1950 年から現在まで、唯一継続して参戦しているチームがスクーデリア・フェラーリ。

1980 年代から長く続いた不遇の時を経て、ここ 10 年の躍進は目覚ましい。

長年 F1 を追い続けている熱田 護氏の写真で、彼らの活躍を振り返ってみよう。

Photo: 熱田 護

Photo Session

1998

ともに 1996 年にやってきたミハエル・シューマッハーとエディー・アーヴァインの組み合わせ。シーズン序盤こそマクラーレン・メルセデスの独走を許したが、尻上がりに調子を上げてコンストラクターズ 2 位。6 勝のすべてをシューマッハーが挙げた。

Machine

フェラーリ F300 / ティーボ 047 3.0 V10

Pilot

ミハエル・シューマッハー / エディー・アーヴァイン

Constructor's Top3

1. マクラーレン・メルセデス 156pt 9win
2. フェラーリ 133pt 6win
3. ウィリアムズ・メカトロニクス 38pt

Driver's Top3

1. ミカ・ハッキネン (マクラーレン) 100pt 8win
2. ミハエル・シューマッハー (フェラーリ) 86pt 6win
3. デイヴィッド・クルタード (マクラーレン) 56pt 1win



2003 年前期型の「F2002」。写真は第 4 戦サンマリノ GP で、カーナンバー 1 はもちろんミハエル・シューマッハーだ。決勝当日の朝にかねて闘病中だった母の訃報がもたらされ、悲しみをおして優勝したときのもの。

1999

シーズン中盤のイギリス GP でミハエルがクラッシュ。負傷して7レースを欠場した。しかしアーヴァインがF1初優勝を含み4勝を挙げるなど踏ん張り、実に16年ぶりとなるコンストラクターズチャンピオンを獲得。スクーデリア・フェラーリ復活の年となった。



Machine

フェラーリ F399 / ティーボ 048 3.0 ℓ V10

Pilot

ミハエル・シューマッハー / エディー・アーヴァイン / ミカ・サロ

Constructor's Top3

- 1. フェラーリ 128pt 6win
- 2. マクラーレン・メルセデス 124pt 7win
- 3. ジョーダン・無限ホンダ 61pt 2win

Driver's Top3

- 1. ミカ・ハッキネン (マクラーレン) 76pt 5win
- 2. エディー・アーヴァイン (フェラーリ) 74pt 4win
- 3. ハインツ・ハラルド・フレンツェン (ジョーダン) 54pt 2win



2000

ニューマシンの「F1-2000」は速くかつ信頼性に富み、シューマッハーが自身3度目のワールドチャンピオンに輝いた。フェラーリにとっては79年のジョディ・シェクター以来、21年ぶりのドライバーズタイトル。コンストラクターズも獲得。

Machine

フェラーリ F1-2000 / ティーボ 049 3.0 ℓ V10

Pilot

ミハエル・シューマッハー / ルーベンス・バリケロ

Constructor's Top3

- 1. フェラーリ 170pt 10win
- 2. マクラーレン・メルセデス 162pt 7win
- 3. ウィリアムズ・BMW 36pt

Driver's Top3

- 1. ミハエル・シューマッハー (フェラーリ) 108pt 9win
- 2. ミカ・ハッキネン (マクラーレン) 89pt 4win
- 3. デイヴィッド・クルタード (マクラーレン) 73pt 3win



2001

ミハエルが速さだけでなくマシン開発能力の高さも証明。前年に加入したバリケロの成長もあって他チームを圧倒し、2年連続となるドライバーズ／コンストラクターズの両タイトルを獲得した。以降05年にルノーが立ち上がるまで無敵状態。

Machine

フェラーリ F2001 / ティーボ 050 3.0 ℓ V10

Pilot

ミハエル・シューマッハー / ルーベンス・バリケロ

Constructor's Top3

- 1. フェラーリ 179pt 9win
- 2. マクラーレン・メルセデス 102pt 4win
- 3. ウィリアムズ・BMW 80pt 4win

Driver's Top3

- 1. ミハエル・シューマッハー (フェラーリ) 123pt 9win
- 2. デイヴィッド・クルタード (マクラーレン) 65pt 2win
- 3. ルーベンス・バリケロ (フェラーリ) 56pt





2002

まさにスクーデリア・フェラーリの独壇場となった年。全17戦中シューマッハー11勝、バリケロ4勝で計15勝を挙げた。もろんコンストラクターズポイントもぶっちぎりだ。写真は第15戦イタリアGPの1-2フィニッシュシーン。勝ったのはバリケロ。

Machine

フェラーリ F2001 → F2002 / ティーポ 050 → 051 3.0 l V10

Pilot

ミハエル・シューマッハー / ルーベンス・バリケロ

Constructor's Top3

- 1. フェラーリ 221pt 15win
- 2. ウィリアムズ・BMW 92pt 1win
- 3. マクラーレン・メルセデス 65pt 1win

Driver's Top3

- 1. ミハエル・シューマッハー (フェラーリ) 144pt 11win
- 2. ルーベンス・バリケロ (フェラーリ) 77pt 4win
- 3. ファン・パブロ・モンターヤ (ウィリアムズ) 50pt

2003



ミハエルが前人未踏となる6度目のワールドチャンピオンを獲得。コンストラクターズ選手権も制してチームは4年連続のダブルタイトル奪取となった。前年とは対照的に薄氷を踏む状況だったのは、この年から着順によるポイント差が小さくなったため。

Machine

フェラーリ F2002 → F2003GA / ティーボ 053 3.0 ℓ V10

Pilot

ミハエル・シューマッハー / ルーベンス・バリケロ

Constructor's Top3

- 1. フェラーリ 158pt 8win
- 2. ウィリアムズ・BMW 144pt 4win
- 3. マクラーレン・メルセデス 142pt 2win

Driver's Top3

- 1. ミハエル・シューマッハー (フェラーリ) 93pt 6win
- 2. キミ・ライコネン (マクラーレン) 91pt 1win
- 3. ファン・バプロ・モントーヤ (ウィリアムズ) 82pt 2win

2004

Machine

フェラーリ F2004 / ティーボ 054 3.0 ℓ V10

Pilot

ミハエル・シューマッハー / ルーベンス・バリケロ

Constructor's Top3

- 1. フェラーリ 262pt 15win
- 2. BAR・ホンダ 119pt
- 3. ルノー 105pt 1win

Driver's Top3

- 1. ミハエル・シューマッハー (フェラーリ) 148pt 13win
- 2. ルーベンス・バリケロ (フェラーリ) 114pt 2win
- 3. ジェンソン・バトン (BAR) 85pt

02年の再現? いやそれ以上に圧倒的な強さを発揮したシーズンだった。シューマッハーは開幕5連勝を含む13勝。バリケロは2勝を含み表彰台14回。しかしその裏で、マクラーレンやウィリアムズに代わって台頭してきたホンダ、そしてルノーの足音が……



2005



予選・決勝を通じて使えるタイヤは1セット。エンジンは2レースで1基。さらにダウンフォース抑制などといったレギュレーション変更への対応に失敗。フェラーリの挙げた勝利は、ミシュラン勢が棄権してたった6台で争われたアメリカ GP のみだった。

Machine

フェラーリ F2004 → F2005 / ティーボ 055 3.0 ℓ V10

Pilot

ミハエル・シューマッハー / ルーベンス・バリケロ

Constructor's Top3

- 1. ルノー 191pt 8win
- 2. マクラーレン・メルセデス 182pt 10win
- 3. フェラーリ 100pt 1win

Driver's Top3

- 1. フェルナンド・アロンソ (ルノー) 133pt 7win
- 2. キミ・ライコネン (マクラーレン) 112pt 7win
- 3. ミハエル・シューマッハー (フェラーリ) 62pt 1win

2006



それまでの3ℓ V10から、90度 V8の2.4ℓエンジンで争われることになったシーズン。フェラーリは前年より大幅に競争力を増し、ミハエルが最終第18戦ブラジル GPまで粘ったものの、タイトルはまたしてもアロンソ/ルノーの手に。



Machine

フェラーリ 248F1 / ティーボ 056 2.4 ℓ V8

Pilot

ミハエル・シューマッハー / フェリペ・マッサ

Constructor's Top3

- 1. ルノー 206pt 8win
- 2. フェラーリ 201pt 9win
- 3. マクラーレン・メルセデス 110pt

Driver's Top3

- 1. フェルナンド・アロンソ (ルノー) 134pt 7win
- 2. ミハエル・シューマッハー (フェラーリ) 121pt 7win
- 3. フェリペ・マッサ (フェラーリ) 80pt 2win

2007



前年限りで引退したシューマッハーの後釜はキミ・ライコネン。最終戦で驚異の新人ハミルトンを辛うじて退け、初のワールドチャンピオンとなった。ただしコンストラクターズのほうは、スパイ疑惑でポイント抹消となったマクラーレンさまさま。



Machine

フェラーリ F2007 / ティーボ 056 2.4 ℓ V8

Pilot

キミ・ライコネン / フェリペ・マッサ

Constructor's Top3

- 1. フェラーリ 204pt 9win
- 2. BMWザウバー 101pt
- 3. ルノー 51pt

Driver's Top3

- 1. キミ・ライコネン (フェラーリ) 110pt 6win
- 2. ルイス・ハミルトン (マクラーレン) 109pt 4win
- 3. フェルナンド・アロンソ (マクラーレン) 109pt 4win